

2017年7月20日

関西地区の化学工場所長による保安に関する意見交換会

安全工学会
石油化学工業協会

安全工学会・石油化学工業協会の共催にて、現場に最も近い経営層である工場長・工業所長・製造所長による保安に関する意見交換会を2015年10月から開催しており、第4回目意見交換会を6月27日（火）に関西地区にて開催した。

記

1. 日時 平成29年6月27日（火）

14:00～17:00 意見交換会 その後 懇親会

2. 場所 姫路日航ホテル

3. 出席者

- (1) 企業
- | | |
|------------|-----------|
| 住友化学(株) | 横川大阪工場長 |
| (株)ダイセル | 白子姫路製造所長 |
| 新日鉄住金化学(株) | 伊津野広畑製造所長 |
| (株)カネカ | 落合高砂工業所長 |
| (株)日本触媒 | 荒川姫路製造所長 |
- (2) 安全工学会 三宅淳巳（横浜国立大学教授）、湯本公庸（事務局）
- (3) 石油化学工業協会 保安衛生委員長 成田睦夫（旭化成）、志村勝也（事務局）、岩間啓一（事務局）
(株)日本触媒関係者（岡崎氏、田邊氏）

4. 内容

最近の事故の発生状況について事務局が説明を行った後、成田委員長の司会により各工場長、製造所長から保安への取り組みなどについて説明、質疑応答が行われた。

様々な事業をもつ複合事業所運営の悩み、トップとしての取り組み、技能・技術伝承、人材が不足する中での育成、特に保安安全部門の人材育成への取り組みなどについて、意見交換が行われた。

(1) トップの基本理念の浸透

- ・メッセージ「安全はすべてに優先する」の明確な発信
具体的な意味を各職場で議論
- ・工場長の安全ヒアリング
現場の弱みと目指す姿の自覚を促す
現場課長の育成強化

(2) 工場運営の施策

- ・職場の体質改善
第三者による診断、職制と運転員の双方向通信

業際エラーとヒューマンエラーの認識と対策

・要員配置

Safety engineer の配置

保安防災作業まで入れた人員配置

・3 Sを基軸とした取組み

気付いたら言う、聞いたら改善。ミエル、イエル、キケルでコミュニケーションを強固にしながら改善

あいさつ運動、マナーアップ活動

・工場基本ルールの徹底

あいさつ、階段の手すり持ち

不安全行為への相互注意

(3) 風化防止対策

・テーマを定めて繰り返し徹底的に議論

・ルール制定経緯を理解

(4) リスクアセスメント

・4ラウンドKYトレーニング

・自部署の問題点把握と徹底的な対策

・リスクアセスメントのレベルアップ

プロセスを熟知し、不安全を見抜く人材の育成

安全装置が機能しない場合のリスクアセスメント

・機械安全の観点によるリスクアセスメント

・過去の事件事例を使って原因と対策の研究

(5) 技術伝承

・安定化・標準化を行いシステム化などしくみにして定着

・潜在知識の顕在化と経験・行動のデータベース化で活用

・スキルの認定

(6) 保安安全部門の人材

従来、製造部門、設備部門から保安安全部門への人材供給が行われていたが、それらの人員に余裕がなくなったことから保安安全部門の人材不足傾向が強まっている。

保安安全部門の人材育成の工夫も始まっているが、まだまだこれからの課題。

・研究開発部門から人材を採用

必要なスキルが異なることから育成に工夫と時間が必要

・本社で保安安全環境部門の要員を一括採用

以上